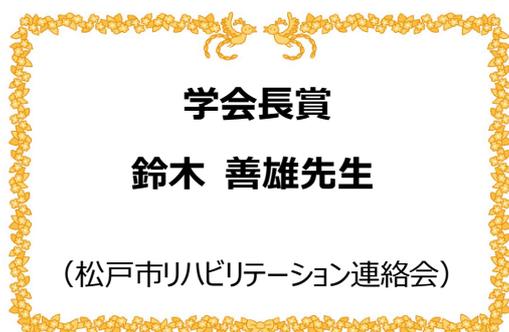


第 25-26 回合同千葉県理学療法士学会
優秀演題賞受賞者へミニインタビュー



昨年度学会で優秀演題賞を受賞されました先生方へミニインタビュー♪

受賞者の先生方がどのような研究を行い、発表を通じて学んだことや今後の抱負について直撃取材したいと思います。インタビューを通じて多くの刺激が得られればと思います。

第2回は演題名「千葉県高齢者保健福祉計画及び市町村介護保険事業計画におけるテキストデータの計量的分析-リハビリテーション等関連語の視点から-」にて学会長賞を受賞されました松戸市リハビリテーション連絡会の鈴木善雄先生です！

鈴木先生、学会長賞おめでとうございます！今回受賞されました演題の概要を教えてください。

鈴木先生

近年、一般介護予防事業等を通して、保険者（市町村）と協働する機会が増えておりますが、市町村事業に参画する上で、我々専門職も各自治体が策定する高齢者保健福祉計画等に触れることも最低限必要であろうかと存じます。今回の研究では、テキストマイニングの手法を用いながら、活動の根拠となる事業計画における「リハ専門職への言及」を、リハビリテーション関連語の視点から「出現率」をもって検証いたしました。

今回テキストマイニングを用いることによって、「リハ専門職への言及」を可視化されたと思われます。我々専門職が地域より求められていること、専門職として地域貢献するために必要なスキルなど、今回の研究結果を受けていえることがございましたらメッセージを頂けますと幸いです。

鈴木先生

本研究や先の法改正・令和3年度の介護報酬改定等を振り返りますと、時代のフェーズは「地域包括ケア」から「地域共生社会の実現」へと動いているように感じます。しかしながら、社会背景や求められるニーズが変化しても我々専門職が持つ「スキル」は一貫しています。よって、今後はその「伝え方」を磨いていく必要があるのではないのでしょうか。

なるほどです、『伝え方』ですね。とても大切なスキルですね。私も磨いていきたいと思います。
最後に学会発表を通してご自身の学びにつながったことや、今後の抱負についてお聞かせください。

鈴木先生

発表内容について様々な視座からご指摘をいただきましたので、自身の研究に反映させると共に、今後の地域理学療法学の発展に寄与できれば幸甚です。

鈴木先生、丁寧にご回答頂きありがとうございました。

今年度も多くの先生方にご発表頂けるよう、学会準備委員一同様々な企画を検討し鋭意準備を進めております！皆さまの学会参加、演題発表を心よりお待ちしております♪